

2021/9/30

西山キミエ成年後見人 安部 高樹 様
辻恭子代理人 弁護士 谷 直樹 様
弁護士 岩永 隆之 様
辻 竜也 様
西山 円・敬子 様

松山市道後湯之町 西山 紀男

件名：辻恭子の奇怪な言動

2018年11月30日 西山 キミエ母の相続準備の話し合いの機会を持ちました。
その時以降、私共には理解できない辻恭子の奇怪な言動が続いています。

1. 2018年11月30日 辻恭子は、西山キミエ名義の動産、不動産については、「頭が痛い。」
と云って二階に上がっていった。
辻俊雄が二階に行って確認した結果は、「見せられん。」とのことだった。
2. 2019年3月22日 弟 西山紘二 逝去の折、恭子は「紘二の葬式には来なくていい。」、
「自分たちで葬式をすませ、遺骨は横浜に届ける。」と言った。
3. 2019年12月2日 突然のファックス(絶交宣言)が届いた。

標記について

1. 宅急便『着きました』ので、荷物を受け取りました事をお知らせ申し上げます。

2. 私事で恐縮ですが、私(俊雄)も高期高齢者となり、年々体力気力が衰え、日々老いを実感している今日此の頃です。
それに、妻(恭子)と母(キミエさん)の介護の苦勞と成年後見人(介護費用の日々細かな記帳・計値と毎月毎の報告)による心労からストレスが高じて、糖尿病指標ヘモグロビンA1C8.5以上、高血圧160以上が常態化しており、狭心症の痛み・足のむくみ・こむら返り等で歩行も難儀している状況です。
誠に失礼とは存じますが、勝手ながら本年を持って、年賀のご挨拶、お中元・お歳暮等の贈り物を終了させて頂きます。
ご健勝を心からお祈り申し上げます。 以上

4. 2020年8月26日 辻恭子は、谷弁護士を通して、「自分が喪主を務めたい」と言ってきた。

5. 2020年9月23日 キミエ母の聖フランシスコ病院への緊急入院を故意に知らせなかった。
また電話通信を遮断した。
これは、西山の有事を隠したことに該当する。

10月6日 谷弁護士の仲介により、担当医師からキミエの病状と医療について、直接話を聞くことができた。

6. 2021年6月7日、キミエ母の急変時に辻恭子からの連絡はなかった。
かいごの花みずきから後で、連絡があった。

7. 2021年7月、104歳での延命医療についても、辻恭子からの相談は無く、後で看護師から聞かされた。
紀男は、104歳の安らかな自然死を望んでいた。
何故、延命治療に至ったかを知りたい。

以上の 奇怪な言動は、西山家の長男を無視している。
何ごとも隠そうとしている意図を感じる。
キミエの資産(預金、貯金)の 隠蔽工作ではないかと確信した。
以上、